

## 要請番号 (JL60924B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	I102 障害児・者支援		個別	新規	2年	・2025/2・2025/3・ 2026/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

社会課題省

## 2) 配属機関名 (日本語)

国立聴覚障害児学校

## 3) 任地 ( エスチュエール州リーブルビル市 ) JICA事務所の所在地 ( リーブルビル市 )

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 ( 徒歩 で 約 0.0 時間 )

## 4) 配属機関の規模・事業内容

1982年に自身も聴覚障がいを持つアメリカ人牧師アンドリュー・フォスター博士が、ガボン福音教会を代表するシマ・ンドング牧師と共同で創立した学校で、1985年に政府の管轄下の国立聴覚障害児学校となった。聴覚障がい児に対する就学前・初等教育の実施、リハビリテーションの提供、心理的ケア、社会復帰支援を使命とし、2024年8月現在3~28歳の児童・生徒が約120名在籍している。学校運営には、大統領夫人財団やユニセフ、フランスのNGO団体等からの資金援助や学習機材の提供を受けている。2018年2月から現在まで3代にわたりJICA海外協力隊(言語聴覚士)が派遣されている。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

活動先の使命の一つである社会復帰支援については、担当教員が小学校課程未修了の生徒に対し特別授業として裁縫や料理、菜園実習等の授業を実施している。一方で、担当教員が多忙等の理由から不定期での実施であり、また授業を実施しても実際の就職につながらないことしばしば見受けられる。そこで、担当教員と協力し既存の資機材等を生かしつつ、実際の就職につながるような創意工夫を凝らした特別授業の実施補助ができる隊員の要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の学校長や教職員等と協力し、

- これまでの特別授業についての情報収集、定期実施に向けた解決策の検討を行う。
- 上述の1.を考慮し、必要に応じて創意工夫を凝らした新たな特別授業の導入提案、実施支援。
- その他、就職先拡大のための取組みや、生徒の視野拡大のための社会見学等についての実施提案。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

キッチン、調理道具、手芸用品、菜園、園芸用品

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

学校長(心理士、50代女性)、臨床心理士2名(30~50代女性)、補聴器技師(50代男性)、クラス担当職員10名

活動対象者:職員、児童・生徒、保護者

## 5) 活動使用言語

フランス語

## 6) 生活使用言語

フランス語

## 7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

### 【資格条件等】

[免許]： ( )

[学歴]： ( ) 備考：

[性別]： ( ) 備考：

[経験]： (実務経験) 3年以上 備考：配属先からの要望

[汎用経験]：

- ・ 障害者を対象とした活動経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (25～35℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

### 【特記事項】

同時期に同校生徒への言語発達支援を実施するJICA海外協力隊(言語聴覚士)も募集しています。